

あさひの日だまり

令和6年 3月 1日 (金)

NO.39

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～今年度最後の児童総会がありました～

5年生への引継ぎが行われました



「笑顔あふれる東小学校」を児童会のテーマにして、令和5年度の児童会活動が行われてきました。「どうやったら楽しい学校になるだろう?」「そのためにはどんな活動をすればいいだろう?」「この活動にはみんな笑顔で参加してくれるかな」いつもそういう視点で自分たちの活動を計画したり振り返ったりしてきた6年生でした。

「こんな活動を仕組んでみたらどうだろうか」ということを担当の子どもたちがいつも集まって話し合いをしていました。「自分たちで考えて自分たちの企画を実行したい」と活動を展開してきました。そうい

う方法で活動をしようとする、実は計画段階からとても時間がかかります。先生が考えてもらったシナリオで動くのは簡単なのです。計画段階から先生の指示に従えば失敗や間違いもきっとありません。でも、今の6年生は先生も子どもたちもその道を選びませんでした。一つ一つ自分たちの手作りで進めてきました。私は傍からその様子をずっと見てきました。

6年生の皆さん、今まで本当にありがとうございました。本校が大切にしている「自律の道」をその姿で示してくれました。感謝です。

5年生の皆さんはこれから本格的に児童会をリードしていくことになります。5年生には5年生のカラーがあるはず。引継ぎにあたってリーダーたちと校長としてじっくり話をしたいと思っています。目指す学校の姿が、職員と子どもたちがずれていたら困ってしまうのは子どもたちです。子どもも私たち職員も同じ方向を向いて一緒に学校創りを進めていきたいと思っています。5年生の皆さんに期待しています。そしてよろしくお願いします。



～参観日へのご来校ありがとうございます～

2年生は5日の火曜です



1・2年生は2月26日に、3・4年生は29日に、そして5・6年生は3月4日にそれぞれ学習発表会の授業参観が行われます。私も1年生の授業の様子を参観させていただきました。保護者の皆さんが一生懸命カメラを向けて下さる前で子どもたちは頑張って友だちと一緒に色々な発表をしていました。縄跳びを頑張っている場面では、引っかかってしまう友達に何か言うわけではなく、友だちの飛ぶ姿に一生懸命温かな視線を向けている1年生でした。見ている私の方が「ガンバレ、ガンバレ」と力が入ってしまいました。

2年生は、残念ながらインフルエンザがはやっていて、今回は延期にしました。子どもたちは一生懸命演劇を練習してきましたので、中止ではなく延期にさせていただきました。5日の火曜日に行きます。シンデレラの演劇団がやってきます。

～長野県ふるさとの森林づくり賞をいただきました～

活動を起こし、ここまで活動を継続してきてくださった方々に感謝いたします。

校門を出てそのまま中央道へ向かって10分ほど歩みを進めると、中央道の下をトンネルでくぐりぬけることができます。トンネルを出るともう目の前には山が迫っています。目の前に広がるそのあたりのことを子どもたちは「ゆめ山」と呼んでいます。冬はソリ遊び。秋は木の実拾い。クリスマスの前にはクリスマスリースのつたを探しに行く子どももいます。私はこの遊び場がどのような経緯で整備され、これまでどのように利用されてきたのかあまり知りませんでした。それは、ずいぶん以前に子どもたちのために保護者や地域の方たちが整備して下さったらしい、という程度の知識でした。

2月9日（金）に長野市にあります県立長野図書館において、長野県ふるさとの森林づくり賞の表彰式がありました。辰野町から推薦をいただき、本校の「ゆめ山」に関わる活動が森林環境教育推進の部において、長野県教育委員会賞をいただくこととなったのです。

表彰式の当日は、町の教育委員会からお一人と本校からは教頭先生に長野まで出かけていただきました。持ち帰っていただいた賞状は今も校長室においてありますが実に重々しい感じの賞状です。



受賞させていただいた理由を読ませていただくと、「ゆめ山」が子どもたちの山として整備されてきた経緯が記されておりました。その当時の保護者の皆様や職員の子どもたちに寄せる熱い思いを読み取ることができました。

校長室にある50周年記念誌を開き「ゆめ山」に関して記された部分を調べてみました。

まず、当時の諏訪校長先生と有賀PTA会長が連名で記した請願書（本文はお願いとなっています）が掲載されていました。この「お願い」は、辰野町長の矢ヶ崎様宛になっています。そこには、子どもたちの思いっきり体を動かせる場所が次第に減ってきていることに対する悲しさ、そしてそういう場所をぜひ子どもたちに提供してあげたいという強い願いが書かれています。そしてその後3年間にわたる熱心な運動の結果、山の所有者

の皆様のご賛同をいただき、平成15年に町がその一帯を買い上げて下さったということがわかりました。そして、「ゆめ山」の名は子どもたちへのアンケートによって決定されたということもわかりました。

そんな経緯をへて、現在も子どもたちの格好の遊び場として「ゆめ山」があります。そして、今年度は5年2組の皆様が「あさひの時間」に、その意思を引き継いで、下級生のために「ゆめ山」を整備しようという活動を展開してくれました。このような一連の活動をすべてまとめて今回の受賞となったのだと思います。



そして、町のご配慮により、27日には5年2組の皆さんが町長さんに受賞の報告にうかがうという機会を作っていただけました。

報告会の場で町長さんからは「少し前にあのゆめ山を訪れる機会がありました。もしもう少し若かったら私もあの斜面を走り回りたい思いになりました」というお話をいただきました。

教育長さんからは「昔はあの斜面へそりを持って行ってよく遊んだことを思い出します」ということもお聞きすることができました。

学校にはいろいろな歴史が刻まれています。今ここで仕事をさせていただいている私どもはその歴史を知らぬまま日々を過ごしています。私も子どもたちとともに「ゆめ山」を訪れます。多くの保護者の皆様の思いと職員の思いそして子どもたちの楽しい思い出がそこにはたくさん詰まっていることを感じながらまた「ゆめ山」を見上げたいと思います。